

# 出演者紹介



## 管弦楽

### 四国フィルハーモニー管弦楽団

*Shikoku Philharmonic Orchestra*

四国フィルハーモニー管弦楽団は、1987年7月、高知県、愛媛県を中心とする各地の若い奏者たちが集まり結成。現在は、四国を中心に全国各地から多くの奏者が集まり、高知での定期公演や愛媛、香川での室内楽公演、オペラ、パレエなど、各地

で好評を得ている。これまでに指揮者の豊嶋和史、星出豊、服部克久、本山秀毅、菊地俊一、中橋健太郎左衛門、現田茂夫、守山俊吾、澤和樹、直井大輔、田中祐子各氏と共演。令和4年度高知県文化賞受賞。



## 指揮

澤 和樹

*Kazuki Sawada*

photo © F.NAGAI

1979年、東京藝術大学大学院修了。「安宅賞」受賞。ロン＝ティボー、ヴィエニャフスキ、ミュンヘンなどの国際コンクールに入賞し、イザイ・メダル、ボルドー音楽祭金メダルを受賞した。'80年より文化庁在外研修員としてロンドンに派遣され、ジェルジ・パウク、ベラ・カトーナの両氏に師事。'84年に東京藝大に迎えられるとともに本格的な演奏活動を開始し、'89年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣され、さらに研鑽を重ねた。この時期、アマデウス弦楽四重奏団メンバーとの出会いにより澤クワルテットの結成を決意する。'96年より指揮活動を開始。2003年、'04年には響ホール室内合奏団、'05年には東京弦楽合奏団を率いて英国各地で演奏し絶賛される。日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団などにも客演し好評を博す。2004年、和歌山県文化賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授、音楽学部長を経て2016年より2022年まで東京藝術大学長。英国王立音楽院名誉教授。



## ヴァイオリン

大谷 康子

*Yasuko Ohtani*

photo © Masashige Ogi

高知県観光大使。

2023年にデビュー48周年を迎え、これまでにリサイタルはもとより、N響、モスクワ・フィル、スロヴァキアフィル等、国内外の著名なオーケストラと多数共演。キエフ国立フィルとは2017年以降毎年招聘されている。また、2019年5月に実力派ピアニスト、イタマール・ゴランと全国ツアー（高知を含め12都市）を開催し、好評を博す。著書に「ヴァイオリニスト 今日も走る！」(KADOKAWA)がある。CDも多数リリース。BSテレ東（毎週土曜朝8時）「おんがく交差点」では司会・演奏を務める。文化庁「芸術祭大賞」受賞。東京音楽大学教授。元東京藝術大学客員教授。東京芸大ジュニアアカデミー特別教授。（公財）練馬区文化振興協会理事長。川崎市市民文化大使。（公財）日本交響楽振興財団理事。（公社）日本演奏連盟理事。使用楽器はピエトロ・グアルネリ（1708年製）。

オフィシャル・ホームページ：<https://www.yasukohtani.com>  
【公式YouTube】「大谷康子のやっこチャンネル」演奏動画続々公開中！